

## 外來実習

## 実習目的

- (1) 一人の患者の取扱をとおして、病院の外來、家庭、地域、社会に於ける適切な医療のあり方について学ぶため。
- (2) 健康に影響を及ぼす感情的、経済的、社会的問題を理解するために、外來患者、又は退院患者の中より相談を必要とする人に対して
  - (a) 適切な診断及び治療を行うための方法
  - (b) 患者の家庭看護及び家族の健康生活に影響のある問題の発見及び原因の分析、その解決のための援助方法
    - (i) 社会資源の利用方法 等
 に関する実習を行い、個人の健康と社会（疾病の個人及び家族、社会に及ぼす影響）についての理解を深めるため。

## 例

家庭内の種々なる問題のため、病氣に対する理解が少く、治療、療養に困難をきたす人

家族その他に伝染の恐れがある人

家庭看護を必要とする人等

## 実習内容

## (1) オリエンテーション

- (a) 職員の紹介
- (b) 各室の配置及び使用目的、並に物品の取扱方法の説明
- (c) 受付方法及び診察順序の説明
- (d) レントゲン及び各科外來への診察依頼方法の説明
- (e) 記録簿、報告用紙類の使い方、整理及び保管方法の説明
- (f) 外來患者の状況説明
- (g) 健康相談部に於ける業務の範囲及び活動状況について説明
- (h) 家庭訪問地区の概況及び関係施設（社会資源）との連絡方法の説明
- (i) その他参考資料の説明
- (j) 外來実習計画の説明

## (2) 実習要旨

- (1) 外來に於ける患者の取扱について理解
 

受付、診療、健康相談に於ける取扱方法
- (2) 外來患者の状況について理解
 

来所者数、疾病の種類及び傾向
- (3) 外來に於ける看護の機能について理解
  - ① 早期に適切な診断及び治療を行うための援助
  - ② 診療の準備及び診察時に於ける医師の协助
  - ③ 家庭に於ける病人看護及び家族に対する看護法の指示、健康教育
  - ④ 疾病にかつておこる家族間の感情問題の調整
  - ⑤ 慢性疾患又は障害をもつ患者の学生指導
  - ⑥ 社会資源の利用方法